

No.182(一九八三年一月一・二日合併号)から  
No.216(一九八三年二月二日)まで

No.182(一九八三年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇一九八三年を迎えるにあたって

◇向坂逸郎社会主義協会代表にきく◇

プロレタリアート独裁がマルクス主義の核心

反独占・反軍拡・反帝・反差で総評の再生を岩井章

指導性を高める視座灰原茂雄

戦前・戦中の「産業報告会」化から学ぶもの④

◇活動の記録と報告④◇

昭和電工闘争の前進にむけて

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑱

社会党内の「反ソ・反共」主義⑤

科学的な平和革命の理論について①

—社会主義革命論の系譜—

書評向坂逸郎・ゆき『叛骨の昭和史』(坂本守著)

◇語録◇編集部日より

No.183(一九八三年一月二日)

◇巻頭言◇中曽根首相とファシズムの危険

改憲阻止、反合理化闘争で社会党の強化を

—社会党第四七回大会とこれからの課題—

総括から路線の確立を!

—国鉄闘争の当面の課題①—

◇活動の記録と報告⑤◇国労甲府駅分会

十年間の闘争総括から

長期に闘う路線をめざす

「産報」育成のために資本が用いた手段▲

—戦前・戦中の

「産業報国会」化から学ぶもの⑫—

破産した「ユーロ・コミュニズム」路線

—スペイン共産党内の変化について—

語録

No.184(一九八三年二月一日)

◇巻頭言◇憲法問題で野党はもつと勉強を  
軍事大国化で問われる社会党―社会党大会と社会党の課題―  
下部からの運動、組織づくりが問われている―社会党第四七回大会に参加して―  
「窮乏生活」を提唱―日経連の最近の動向―

◇活動の記録と報告⑥◇

横浜市従環境事業支部

「幹部請負い」を脱しきれぬ弱さを反省

▽シリーズソ連脅威論の虚構⑩▽

社会党内の「反ソ・反共」主義⑫

◇読者からのたより◇編集部だより

No.185(一九八三年二月一日)

特集・一九八三春闘の実践的課題①

巻頭言◇中曽根発言の背後に「ソ連の脅威」

一九八三春闘―三つの課題

「民間労使関係」のタガ引き締めを強調

―日経連『労働問題研究委報告』の意味するもの―

進む「労資協調」の物質的基盤の崩壊

「生産性基準原理」は危機の時代の産物

資本の行動がマルクスの理論を証明

◇活動の記録と報告⑦◇私鉄・京成労組

仲間は働きかけを待っている

相互武力不行使、平和関係

維持条約締結を提案―ワルシャワ条約諸国の平和綱領―

◇書評◇一九八三年春闘・「行革」・労戦「統一」問題

◇語録◇

読者からのたより

No.186(一九八三年二月二日)

特集・一九八三春闘の実践的課題②

巻頭言◇「マッカーサー体制」打破をめざす

中曽根全面対決が社会党の進路―一九八三年度予算の実践的考察―

中首根の政治反動と革新陣営の課題

味方をはげます指導が欠如―一九八三『春闘白書』の問題点―

噴出する矛盾と失業問題―国内経済をめぐる情勢について―

◇書評◇『職場に労働運動を』(酒井二三著)

アフガニスタン経済の現況

No.187(一九八三年三月一日)

- ◇巻頭言◇「首を切る」ものと「切られ」るもの
- ◇岩井章氏にきく①◇政治反動と社会党・総評の任務
- ◇一九八三春闘をこうたたかう◇  
社会主義革命にとりくむ  
活動家づくりをめざす

「賃上げで内需拡大」論の虚構①

つづく全民労協「参加反対」のたたかい―東武・京成、全国一般、全造船の動向―

◇資料と解説◇

「労研センター」は三月一日に設立総会

資料「労働運動研究センター」の運動の基調について(案)

◇書評◇「現代と『国家と革命』」(山藤彰著)

語録

No.188(一九八三年三月一日)

巻預言◇「行革」に対決する一九八三春闘を

◇岩井章氏に聞く②◇「労研センター」で総評の再生をめざす

「現協」をめぐる攻防の総括―国鉄労働運動の実践的課題②―

「生産性基準原理」への屈服が本質

―「内需拡大」論の虚構②―

◇一九八三春闘をこうたたかう◇

実態討論と学習を中心になんばる

語録

No.189(一九八三年三月二一日)

「内需拡大」論はなぜ間違ひなのか―賃上げで「内需拡大」論の虚構③―

中曽根は南朝鮮人民を敵とする道を選択

―日韓新関係と中曽根外交―

科学的な平和革命の理論について②

―統一戦線とその政府の性格―

「労働運動研究センター」が発足

資料「労研センター」結成総会(結成宣言)

私鉄総連執行部は「官民」の「統一」に熱意?

―私鉄総連臨時大会報告―

◇活動の記録と報告⑧◇

全北海道開発局労働組合(全開発)◇

臨調攻撃に抗して

◇全国一般の決着は八月に◇語録

No.190(一九八三年四月一日)

- ◇巻頭言◇平和か戦争かが問われている  
全民労協が主導権確保に意欲―一九八三春闘をめぐる情勢について―  
「ケインズ理論」にとびついた総評―「賃上げで内需拡大」論の虚構④―  
国家は階級支配の道具でなくなったか―科学的な平和革命の理論について③―  
◇私鉄総連の仲間たちへ◇  
仲間たち、たたかいはこれからだ
- ◇活動の記録と報告⑨大倉電機秩父支部◇  
小集団管理が職場支配のテコ  
「大量失業時代」の幕あけ?
- ◇語録◇編集部から

No.191(一九八三年四月一日)

- ◇巻頭言◇  
「行革」にキツパリ反対が革新の課題  
古いファシズムと新しいファシズム  
西ドイツの総選挙が示したもの  
「内需拡大」論の克服が春闘再構築に直結―「賃上げで内需拡大」論の虚構⑤―  
「純粋な資本主義社会」と『資本論』  
―科学的な平和革命の理論について―  
資料軽犯罪法容疑で国労東京を強制捜査(『国労東京』一九一九八三・三・一九)  
官憲の不当な組合運動への介入を許すな!!  
◇活動の記録と報告⑩全電通郡山分会◇  
―「頸肩腕障害」をめぐる資本との攻防―  
語録

No.192(一九八三年四月二一日)

- ◇巻頭言◇明治維新と「行政改革」  
国鉄労働運動の現状と課題  
資料国労東京地本にかけられた  
ビラ貼り弾圧について  
国鉄労働者にまけるな!―全電通をめぐる情勢について―  
強まる非同盟運動  
―成功したニューデリー首脳会議  
シリーズ「ソ連脅威論」の虚構(二一)  
「ソ連脅威論」を演出する人びと  
ニカラグアを第二のレバノンにするな  
◇語録◇編集日より

No.193(一九八三年五月一日)

「中曽根軍拡路線」に強い批判―統一地方選第一ラウンドの意味するもの―  
独占の意志が貫徹した民間「回答」

―一九八三春闘の経過が示すもの―  
歴史をつくる気迫に一步接近

―第一六回全国青年団結集会の報告―  
小所有者との政治同盟と階級独裁

―科学的な平和革命の理論について⑤―  
シリーズ「ソ連脅威論」の虚構(二二)

「ソ連脅威論」を演出する人びと⑥  
『未来は青年のもの』をすすめる

◇語録◇編集だより

No.194(一九八三年五月一日)

◇巻頭言◇春闘と統一地方選挙  
公労協への回答とわれわれの任務

犠牲者が弱者を攻撃する―校内「暴力」の構図―  
石油とドルの戦略

矮小化を許さないレーニンの理論  
―科学的な平和革命の理論について⑥―

◇活動の記録と報告⑫全電通木江分会◇  
権利・慣行破棄の攻撃に抗して

◇投稿◇優生保護法改悪を許すな  
はじまったパート労働者組織化のたたかい

語録

No.195(一九八三年五月二一日)

◇巻頭言◇「自由な人びとの連合」とは何か  
全員当選で初の十議席確保

―富山から県議選の報告―  
一九八三春闘の総括視点

所有と経営の分離とマルクス・エンゲルス  
―科学的な社会主義の

理論について⑦―  
当局のねらいは全通の同盟・JC化

―郵政省の労務管理の歴史と現在―  
「教育労働運動通信」の購読をすすめる

編集部だより

No.196(一九八三年六月一日)

◇巻頭言◇嘘の「証言」

驚くべきリニ枚舌外交リ―中曾根のASEAN訪問の意味するもの―  
都知事選挙の教訓と課題

注目される福岡、北海道の「県・道」政

資料①二四年ぶり革新道政を奪還!

資料②横路革新道政下での全道庁運動の基本

公正な選挙活動・政治活動を保障せよ

―京都府園部町長選で暴力行為―

「資本の民主化」と経営参加―科学的な社会主義の理論について⑧―

活動の記録と報告⑬全電通の仲間から

一つでもひっくり返す努力をしよう

◇編集部日より◇語録

No.197(一九八三年六月一日)

◇巻頭言◇

バクーニンと「みーちゃんは一ちゃん」

三周年を迎えたミツテラン政権

統一地方選をたたかっ

レフチェンコ事件の背景と本質

京都で「労研センター」が発足

資料「京都労研センター」運動の基調

独占資本の収奪とプロレタリア独裁―科学的な社会主義の理論について⑨―

◇語録◇編集部日より

岩井章・灰原茂雄編著七月中旬発行

反合理化闘争の理論と実践

No.198(一九八三年六月二一日)

◇巻頭言◇階級闘争としての選挙闘争を現行憲法と平和革命

―科学的な社会主義の理論について⑩

労戦再編成の現段階と官公労の再編

「宣戦布告なき戦争」のなかで革命は前進―アフガニスタンの現状―

◇資料◇カルマル人民民主党書記長のメッセージ ―日本の労働者のみなさんへ―

◇富山県農協労からの報告◇

経営者がマイッタというまでたたかう

元気にたたかいつづける

新白砂電機のパート労働者

岩井章・灰原茂雄編著七月中旬発行

反合理化闘争の理論と実践

No.199(一九八三年七月一日)

◇巻頭言◇学習と闘争のみに未来はある

西側軍事同盟にのめりこんだサミット

一人ひとり具体的方針をもってたたかう

―一九八三春闘をストライキでたたかった京成労組―

『資本論』を学びはじめて十年

―勉強の成果を「論集」に―

核軍縮交渉への基本視点①

労働組合の春闘総括を見る①

―総評、同盟、J C、民間労組―

チリで高まる闘争の波

◇資料◇

総評・一九一九八三年度運動方針案から

岩井章・灰原茂雄編著七月中旬発行

反合理化闘争の理論と実践

No.200(一九八三年七月一日)

◇巻頭言◇理論がくされば、組織がくさる

◇石橋政嗣にきく◇

心構えを新たにしたらたかおう

◇座談会労働運動の現状①◇

今、総評に問われているもの

〈出席者〉

仲吉良新氏・酒井政治氏・山本和夫氏

I N F交渉のゆくえは世界政治の分岐点

―核軍縮交渉への基本視点②―

ラテンアメリカですすむ革命的高揚

―ニカラグア、エルサルバドル侵攻の背景

◇書評◇歴史は青年がつくる(碓井佳雄遺稿集)

編集部だより

新刊紹介「反合理化闘争の理論と実践」

社会通信二百号記念出版

岩井章・灰原茂雄編著価千二百円著

反合理化闘争の理論と実践七月下旬発行

No.201(一九八三年七月二一日)

◇巻頭言◇参院選総括の基本視点

◇座談会労働運動の現状と課題①◇

官公労再編成には深い危惧

〈出席者〉

仲吉良新氏・酒井政治氏・山本和夫氏

総評指導部の暴挙を許すな

―「行革審」参加と総評労働運動―

国労の良心を守り次のたたかいを準備しよう

―第一三八回国労中央委の教訓―

緊迫するニカラグア情勢

サミットと反ソ軍拡路線と日本

社会通信二百号記念出版七月下旬発行

岩井章・灰原茂雄編著予価千二百円

反合理化闘争の理論と実践

No.202(一九八三年八月一日)

◇巻頭言◇社会党「再建」への根本問題

行革審、「労戦綱領」草案めぐり激論

―日教組第一〇九回中央委を傍聴して―

官公労再編と総評労働運動

「窮乏化作用」の法則と「宇宙理論」

―科学的な社会主義の理論について①―

◇シリーズ「ソ連脅威論」の虚構(二十三)◇

「フィンランド化」の現実

資料「行革審」参加についての

総評三顧問の意見書

◇社会通信二百号記念◇岩井章・灰原茂雄編著

反合理化闘争の理論と実践予価千二百円

No.203(一九八三年八月一日)

◇巻頭言◇参院選総括への根本問題

総評・日本労働運動再構築のためのメモ

総評第六九回定期大会に当たって 岩井章

人類の運命を左右するINF交渉

―核軍縮交渉への基本視点③―

社会主義革命は歴史的必然

―科学的社会主義の理論について⑫―

◇投稿◇碓井佳雄遺稿集

「歴史は青年がつくる」を続いで

理論に裏付けられた実践的提起に迫力

選挙は何も変えなかった—イタリア、病める社会—

イラン国内の「反ソ」キャンペーン

新刊紹介「反合理化闘争の理論と実践」

社会通信二百号記念出版

岩井章・灰原茂雄編著 反合理化闘争の理論と実践 近刊予価千二百円

No.204(一九八三年八月二一日)

◇巻頭言◇石橋体制への期待

あからさまな社会党攻撃 —「朝日」七月三一日付『座標』を切る—

◇座談会◇組合大会を前にして① —鉄鋼労連 I C F T U 加盟を提案—

電機労連全労協強化一色の大会方針

日経連「先進国病の脱却」を強調

日教組会場問題の根本は民主主義の問題

総評労戦統一綱領草案は来年大会で

統一労組懇「総評に未来はない」と断定

全国一般民労協参加問題点が焦点

戦争責任を直視得ず

—戦無派が見た映画『東京裁判』①—

◇シリーズ「ソ連脅威論」の虚構(二四)◇

「亡命と難民」

職場はたたかう指導を求めている

—私鉄総連第四八回大会報告—

全国一般、全労協参加方針を否決

No.205(一九八三年九月一日)

特集・中南米情勢について

◇巻頭言◇急げ自己批判的総括

八月一五日と映画『東京裁判』

—戦無派が見た映画『東京裁判』②—

総評「解体」の危機感さらに強まる

—総評第六九回大会を傍聴して—

アメリカの中米政策の実態

チリの情勢—現段階の特徴と展望

四周年を迎えたニカラグア革命

社会通信二百号記念出版 岩井章・灰原茂雄編著

反合理化闘争の理論と実践 近刊予価千二百円

No.206(一九八三年九月一日)

◇巻頭言◇要求前進の真の力

人勸凍結・五七賃金地方確定闘争―東京三多摩市職員組合の  
たたかいの報告①―

◇「反合理化闘争の理論と実践」を読んで◇ 問われる「総評再生」への心構え  
再び核軍縮への基本視点について

◇シリーズ「ソ連脅威論」の虚構(二五)◇

「亡命と難民」⑦

西欧は新保守の時代か

新刊紹介「反合理化闘争の理論と実践」

No.207(一九八三年九月二一日)

◇巻頭言◇問われる報道姿勢

社会党再生への根本問題

人勸凍結・五七賃金地方確定闘争 ―東京三多摩市職員組合のたたかいの報告②  
主要各単産の方針案をみる 全通事業危機論に埋没 国労の効率化を新たに提起

全通春闘見直し、官公労再編に意欲 総評階級的労働運動の路線は消失(?)

日教組父母、国民とともに教育改革 私鉄賃闘は全労協主軸で

まとめ左派組合に深い動揺

チャド戦争の舞台裏

新刊紹介「反合理化闘争の理論と実践」

No.208(一九八三年一〇月一日)

特集・一九八三年度組合大会の検討①

◇巻頭言◇「非武装中立論」と社会党

八三年度組合大会の検討①

都市交年々論議は減少

私鉄エネルギー問題で新見解

総評官公労再編を提起

国労経過報告で今年も激論

全電通全労協「官公労」版を総評に提案

自治労春闘、衛都連問題が焦点に

全通消えた反合理化闘争路線

日教組教育労働運動の危機を痛感

全造船決定された全労協参加

全国一般全労協加盟を否決、執行部総辞職へ

全林野反合理化、反行革の

たたかいの強化を!

◇記者座談会◇大韓機事件検証①

No.209(一九八三年一〇月一日)

◇巻頭言◇石橋・中曾根論争の意味  
学習と実践をさらに強化しよう!

◇一九八三年度組合大会の検討②◇

右傾化の背景に「能力主義管理」の浸透

投稿◇最近の中国事情

◇「ソ連脅威論」の虚構(二五)◇ ソ連へのソ経済制裁の実態⑤

◇記者座談会大韓機事件検証②◇

揺れる米側発表、疑惑は拡大

好評発売中社会通信二百号記念出版

岩井章・灰原茂雄編著 反合理化闘争の理論と実践 定価千二百円(千二百五〇円)

No.210(一九八三年一〇月二一日)

特集・大韓機事件の真相をえぐる

巻頭言◇「非武装中立論」論争と平和四原則

大韓機事件への基本視点

◇記者座談会大韓機事件検証③◇

浮上する「アメリカ見殺し」説

◇シリーズ「ソ連脅威論」の虚構(二六)◇

破綻した「コム」規制

―対ソ経済政策の実態②―

◇八三年度組合大会の検討③◇

総評労働運動の現状と課題

社会通信二百号記念出版

岩井章・灰原茂雄編著

反合理化闘争の理論と実践好評発売中定価千二百円(千二百五〇円)

No.211(一九八三年一月一日)

◇石橋政嗣社会党委員長に聞く◇

「非武装中立」こそ憲法擁護の道

今日の「合理化攻撃」の特徴について

ミソとクソをいっしょにするな

―いわゆる「先進国革命論」への疑問―

◇新刊紹介◇「マスコミが報道しなかった

レフチェンコ事件の真相」

「大韓航空機事件―その背景と狙い」をすすめる

新刊案内「ソ連脅威論の虚構」

No.212(一九八三年一月一日)

◇巻頭言◇グレナダの「悲劇」の教訓

全労働者の統一をめざして(岩井章)―われわれのすすめる運動の基調―  
官公労組合は民間の教訓を学べ―大手民間労組の右傾化の背景と本質―

◇記者座談会大韓機事件検証(最終回)◇

「非武装中立」こそ緊張緩和への道

◇書評◇「日本型社会主義の魅力」(原野人著)

◇パンフレットご購入のすすめ◇

「たたかいの条件」(三多摩労運研究資料No.1)

◇語録◇編集部日より

岩下武夫著(社会通信社刊)「ソ連脅威論」の虚構 十一月中旬発行B6版二百頁

No.213(一九八三年一月二日)

◇巻頭言◇グレナダの「悲劇」とニカラグア

無数の「向坂教室」をつくりだそう!

―灰原茂雄編著『三池を語る』で語られていること―

息の長い学習と組織づくりが闘いへの糧―スタンダード靴労組のたたかい―

資料1 スタンダード製靴の合理化の実態

資料2 一〇・二一集会「決議文」

ひろがる反撃の条件、怒りは公社に集中―全電通の仲間たたかいの記録―

全民労協第二回総会の特徴点

◇官公労組合は民間の教訓を学べ①◇

資本の労務管理の中心に「教育」

◇春闘再構築のために◇

資料3 九三春闘総括と再構築の課題(全国一般大会方針から)

No.214(一九八三年二月一日)

◇巻頭言◇調査点検運動の活発化を!

自民党が勝つ要素は何一つない

―十二月選挙をめぐる情勢について―

これでまた元気にたたかえる

―東京駅にマル生調査団―

五人組、ニュースを中心に団結

―東京駅の仲間、たたかいの報告―

資料東京駅不当労働行為の実態について

◇春闘再構築のために◇

独占は系統的に組合対策を実践

―「一九八三春闘総括と再構築の課題」(全国一般大会方針から)②―

新刊紹介

No.215(一九八三年十二月一日)

◇巻頭言◇

創意・工夫してたたかう東京駅の仲間たち  
独占、政府自民党の横暴ぶりを暴露せよ

―総選挙闘争の前進のために―

◇総評再生のために◇

「参加」路線の実態を暴露せよ

全通再生の力は職場にある

―全通がしつかりしないと

全郵政に負けちゃう―

アフガニスタン革命の真実

アフガニスタン訪問記藤沢晃

資料「一九八三春闘総括と再構築の課題」(全国一般大会方針から)

Ⅲ国民春闘再構築の問題

好評発売中!岩下武夫著(社会通信社刊)

「ソ連脅威論」の虚構B6版二百頁

No.216(一九八三年十二月二日)

◇巻頭言◇羅針盤を磨こう

日経連の八四春闘対策

いらだつ中曽根、「行革」の本質も浸透

―十二月選挙の中間情勢について―

レーガンの反共騒ぎを糾弾

―朝鮮統一支持運動第二回全国集会―

〃三池の教訓〃を職場から実践しよう

―三川坑炭じん爆発二〇年に思う―

「労研センター」、職場、地域に浸透

―東京労研センターも準備会発足―

◇投稿私の労働運動再構築論◇

〃指導者〃としての自覚をもつ!